

3 | 外国人受入環境整備交付金の活用例

外国人受入環境整備交付金の活用例を紹介します。以下は過去の事例を参考にしていますが、実際に整備・運営する場合は、地域の実情や相談需要等を踏まえて行っていただくようお願いします。

(1) 交付限度額 200 万円の活用例

【整備事業・経費内訳】

名称	数量	金額(税込)
看板作成・設置	-	150,500円
パンフレット棚	1台	66,000円
パーテーション	2台	110,000円
ポスター・チラシ作成費	-	250,000円
ホームページ開設	-	500,000円
消耗品(封筒、ペン等)	-	100,000円
合計	-	1,176,500円

外国人住民数：200人
相談員：2名
(地方公共団体職員が担当)

交付率
10/10

交付決定額
1,176,000円

【運営事業・経費内訳】

名称	数量	金額(税込)
タブレットリース料	2台10月	105,600円
翻訳・通訳ソフト利用料	2台10月	132,000円
研修参加旅費	年1回	10,000円
通信料	10月	118,800円
行政書士相談会謝金	年2回	20,000円
合計	-	386,400円

交付率
1/2

交付決定額
193,000円

交付決定は
千円単位で行います。
なお、交付金の額の確定は
実績に基づき、
一円単位で行います。

整備に2か月を要し、6月に窓口を開設したと想定



